

W828 取扱説明書

W828-z-2507

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時 間 精 度：平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
- 使用温度範囲：-10 ～ +40℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池：時計用：単3形アルカリ乾電池 (LR 6 1.5V) 1個
振子用：単3形アルカリ乾電池 (LR 6 1.5V) 1個
時報用：単3形アルカリ乾電池 (LR 6 1.5V) 2個
- 電池寿命：時計用：約 12 ヶ月
(単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
振子用：約 12 ヶ月
(単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
時報用：約 12 ヶ月
(単3形アルカリ乾電池 2個使用の場合)
- 時報機能：16曲メロディ & ボンボン時打ち
- 夜間自動鳴り止め機能：午後 10 時～午前 5 時
- 振 子

※直射日光や強い光が長時間本体に当たると、部材の変形、変色、劣化の原因になります。

時報メロディリスト (時打ちは回数で表記しています)

6:00	スコットランドの釣鐘草 (スコットランド民謡)	6 回
7:00	小さな谷の農夫 (アメリカ民謡)	7 回
8:00	エリーゼのために (ベートーベン)	8 回
9:00	峠の我が家 (アメリカ民謡)	9 回
10:00	久しき昔 (バイリー)	10 回
11:00	メヌエット (ベツォールト)	11 回
12:00	トロイメライ (シューマン)	12 回
13:00	シューベルトの子守歌 (シューベルト)	1 回
14:00	おもちゃの交響曲 (アンゲラー)	2 回
15:00	オールド・ブラック・ジョー (フォスター)	3 回
16:00	ローレイ (ジルヒャー)	4 回
17:00	楽しい農夫 (シューマン)	5 回
18:00	埴生の宿 (イングランド民謡)	6 回
19:00	白鳥の湖 (チャイコフスキー)	7 回
20:00	おやすみ、あかちゃん (マザーグース)	8 回
21:00	嘆きのセレナーデ (エンリコ・トセリ)	9 回

※内蔵ICで制御されていますので、曲順の変更はできません。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- 時報用電池容量が少なくなると、音量が小さくなったり、音がひずんだりします。このような場合は速やかに同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。
- ※電池を入れ直す際は、必ず針を5時50分に合わせてから電池を入れ、時刻を合わせて下さい。(本書 **ご使用方法** 参照)
- 振子用電池容量が少なくなると、振子の動きが鈍くなり、やがて止まります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- ※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。
- ※製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に電池を交換して下さい。

リセット操作について

次の場合はリセット操作をして下さい。

- ・時報用電池を交換したとき
 - ・時報が正時に鳴らないとき
 - ・時打ちの回数が合わなくなったとき
 - ・設定の手順を間違えたとき
- ※午前と午後の時刻合わせを間違えないように設定して下さい。

<リセット操作方法>

本書 **ご使用方法** の3～8の設定手順で再設定して下さい。

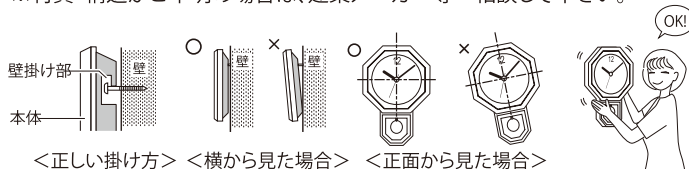
時計の掛け方について



注意

掛け方が不適切な場合、
落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けただけで、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
 - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
 - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないで下さい。
 - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
 - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

時計が動かない

考えられる原因	処 置
電池容量が無い	時計用電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。
電池端子の接触不良	

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	時計用電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。

時報が鳴らない

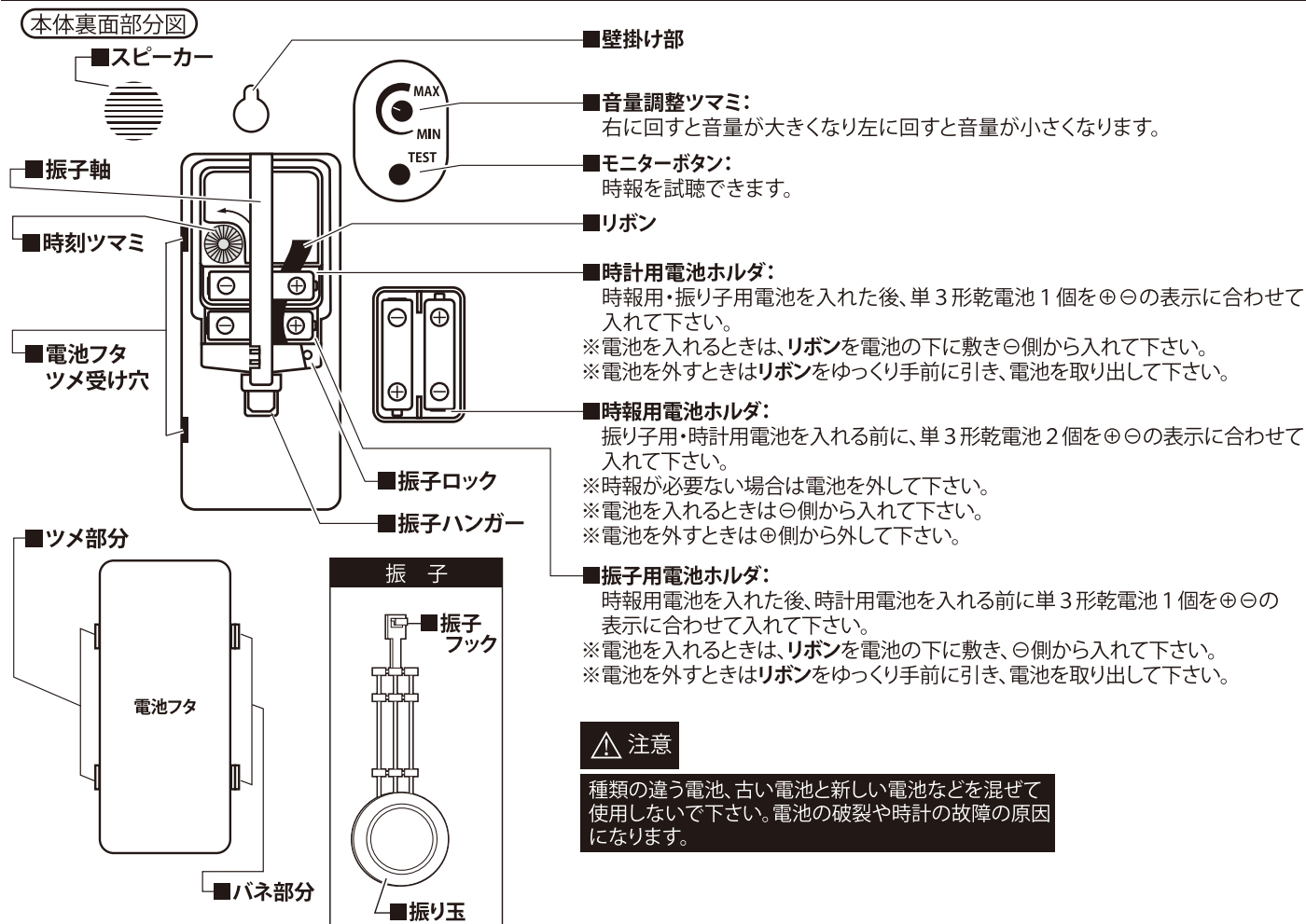
考えられる原因	処 置
電池容量が無い	時報用電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池2個を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。
電池端子の接触不良	

振子が動かない

考えられる原因	処 置
電池容量が無い	振子用電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。
電池端子の接触不良	
時計が垂直・水平に掛けられていない	本書 時計の掛け方について を参照して、時計を掛け直して下さい。

時報音が小さいまたはひずむ/異音がする

考えられる原因	処 置
電池容量が無い または容量が少ない	時報用電池2個を、同時に同じ種類の新しい電池に交換して下さい。



ご使用方法

注意 電池を入れる前に、必ず針を 5 時 50 分に合わせて下さい。

1. 電池フタを開ける

電池フタの 2 か所のバネ部分を押しながら開けて下さい。

2. 振子軸を振子ロックから外す

振子軸を固定しているテープを剥がし、振子軸を右へ押して振子ロックから外して下さい。

3. 時計の針を 5 時 50 分に合わせる

時刻ツマミを必ず左方向(文字盤を見ながら時計の針が右回りに回るよう)に回し、時計の針を 5 時 50 分に合わせて下さい。(出荷時は時計の針が 5 時 50 分にセットされています)

※時刻ツマミは反対に回さないで下さい。時報が合わなくなる原因になります。

4. 電池を入れる

※時報用電池を入れてから、振子用・時計用電池を入れて下さい。
※振子用・時計用電池を入れるときは、振子軸を左にずらして下さい。

① 時報用電池ホルダに単 3 形乾電池 2 個を⊕ ⊖の表示に合わせて入れて下さい。

② 振子用電池ホルダに、振子用電池(単 3 形乾電池) 1 個の下にリボンを敷き、電池を⊖側から入れて下さい。

③ リボンを上に折り返し、時計用電池ホルダに、時計用電池(単 3 形乾電池) 1 個の下にリボンを敷き、電池を⊖側から入れて下さい。

5. 時報を午前 6 時に合わせる

① 時刻ツマミを左方向(文字盤を見ながら時計の針が右回りに回るよう)にゆっくりと回し、時計の針を 6 時 00 分に合わせて下さい。

② "カチッ"と音がしてメロディが鳴り出した後、時打ちが 6 回鳴るのを確認して下さい。これで時報が午前 6 時に設定されたことになります。

6. 時計を現在時刻に合わせる

時刻ツマミを、左方向にゆっくり回して現在の時刻に合わせて下さい。

※電池を入れた直後の鳴り出しは、午前 6 時です。合わせたい時刻が午後 6 時以降の場合は、12 時間以上針を移動させてから、現在時刻に合わせて下さい。

※時刻ツマミは必ずゆっくり回して下さい。早く回しすぎると、時報が合わなくなる場合があります。

※時刻合わせの途中で正時ごとにメロディが鳴り出しますが、そのまま時刻ツマミを回してかまいません。

7. 音量を調整する

音量調整ツマミを回して、好みの音量に調節して下さい。

8. 振子を取り付ける

振子フックを振子ハンガーに取り付けて下さい。
※本製品の振子は飾りですので、時計とは連動していません。

9. 時計を掛ける

本書の「時計の掛け方について」を参照して下さい。

夜間自動鳴り止め機能について

本製品は内蔵プログラムにより、午後 10 時から午前 5 時までの間、時報は鳴りません。

※時報を必要としないときは、時報用電池 2 個を外して下さい。